

第703回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 ブールバール広場及び親水広場再整備事業 [富山市]

…………… 富山県富山市

- ・富山市中心市街地地区は、令和2年3月に路面電車南北接続事業が完了し、富山駅周辺南北一体的なまちづくりを進めている一方、富山駅北エリアは、施設老朽化やムクドリによる鳥害への対応、夜間を含めた上質な景観やさらなる賑わいの創出等の課題を抱えていた。
- ・これらの課題解決に向けて、まちなかウォークブル推進事業等を活用し、既存ストックを活用した魅力ある空間の創出や、官民が連携した賑わいの創出などの取組を実施している。
- ・富山駅北口から続くブルバール広場は、「緑の都市空間」をコンセプトに、居心地よく歩きたくなる空間を目指し、再整備を実施。
- ・また、親水広場は、ブルバール広場と富岩運河環水公園をつなぐ広場として、ブルバール広場の整備コンセプトと連携し、まちなかにおいて気軽に利用ができ、多様なイベントに対応できる広場として再整備を実施する。



2 富山駅付近連続立体交差事業 [富山県]

…………… 富山県富山市

- ・富山駅付近連続立体交差は、駅周辺の混雑緩和や南北一体のまちづくりを推進するため、北陸新幹線の整備（平成27年3月開業）にあわせて、まちを分断している鉄道を高架化し交差道路の拡幅を行う事業。
- ・新幹線北側に位置する並行在来線（あいの風とやま鉄道線）及びJR高山本線は、平成31年3月に高架化を完了。
- ・新幹線南側の富山地方鉄道本線高架化（延長約1.0km）は、令和元年度に事業着手し、令和4年度までに仮線へ運行を切り換え、令和5年度から高架橋を施工中。
- ・鉄道を高架化することで、街路の新設や拡幅を行い都市交通の円滑化を図るとともに、土地区画整理、路面電車南北接続、自由通路整備等の関連事業により交通結節点の機能の充実と、鉄道で分断された駅南北の一体的まちづくりを推進している。



3 一般国道8号（高岡環状道路）六家立体事業 [北陸地整]

…………… 富山県高岡市

- ・六家立体は、地域高規格道路 高岡環状道路のうち、国道8号高岡インター入口交差点の立体化を行う事業。高岡インター入口交差点の渋滞緩和はもとより、国道8号に集中している東西方向の通過交通の分散を促し、国道8号の渋滞緩和を図る。
- ・また、国道8号の円滑化により、伏木富山港から産業拠点までの物流効率化を図ることで、地域の産業を支援する。
- ・本事業はBIM/CIMを全面活用する主要事業（全国12事業）の一つであり、橋梁下部構造施工における三次元データの活用、橋梁下部構造における構造物工・基礎工での出来形管理等においてBIM/CIMを活用している。現在、橋梁下部工（場所打杭）を施工中。

